

2011 年 9 月 6 日

非血縁者間末梢血幹細胞採取認定施設
非血縁者間骨髄採取認定施設
採取責任医師 各位

財団法人 骨髄移植推進財団
理事長 正 岡 徹

ブラジルの UR-PBSCT 提供者死亡事例(続報)

本年 7 月 26 日付「安全情報 (海外) UR-PBSCT 提供者死亡事例(ブラジル)」に関して、WMDA(World Marrow Donor Association)より別紙通知がありましたので情報提供いたします。

記

事例:

- ・提供者 : 21 歳 女性
- ・2011 年 7 月 5 日ブラジルにおいて、非血縁者間末梢血幹細胞採取のため、内頸静脈へカテーテルを挿入した際、カテーテルが血管を突き抜けて肺内に出血をきたし出血死に至った。

本邦においては、非血縁者間末梢血幹細胞提供者(以下、提供者という。)に対する内頸静脈へのアクセスは禁止されており、かつ、上肢へのアクセスが可能であることをドナー適格性判定基準としております。

従いまして、今回ブラジルで発生した同様の事例は発生しないと想定しておりますが、上肢へのアクセスが採取当日不可能となった場合においては、大腿静脈へのアクセスのみを認めています。その際は、「非血縁者間末梢血幹細胞採取マニュアル」および各施設が定めるマニュアルを遵守し、提供者の安全性向上に十分注意していただきますようお願いいたします。

以上